

東西名流舞踊鑑賞会

第34回 舞踊公演

平成28年

10月15日 土

第1部

午後1時開演

常磐津	一中節	常磐津	清元	長唄
山	都見物左衛門	そばやの三つ面	傀儡師	島の千歳
姥				
井上	吉村	若柳	藤間	吾妻節穂
八千代	輝章	吉蔵	良太郎	

第2部

午後4時30分開演

地歌	常磐津	義大夫	長唄	地歌
葵	景	関寺小町	吉原雀	閨の扇
上	清	井上	花柳	榎茂都
山村	藤間	かづ子	花柳芳	梅咲弥
友五郎	蘭黄		双綱	

〈演奏〉 杵屋東成・杵屋勝祿連中／清元美寿太夫・清元美治郎連中／
常磐津一佐大夫・常磐津都毘蔵連中／
竹本駒之助・鶴澤津賀寿連中／宇治はる社中／菊原光治社中
〈囃子〉 藤舎呂浩連中

予約開始 9月11日(日)午前10時～

〈電話〉 国立劇場チケットセンター〔午前10時～午後6時〕

0570(07)9900 / 03(3230)3000 [一部IP電話等]

〈インターネット〉 <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン]

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> [スマートフォン]

入場料金 6,700円・学生 4,700円
(各部・税込) (第1部・第2部セット割引 11,400円)

※障害者の方は2割引です。
※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。

窓口販売開始 9月12日(月)チケット売場〔午前10時～午後6時〕

国立文楽劇場 (大阪)

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
06(6212)2531(代表)

<http://www.ntj.jac.go.jp/>

東西名流舞踊鑑賞会

10月15日(土)

平成28年

日本舞踊界の第一線で華々しい活躍をみせる東西の名手が一堂に会する公演です。
上方四流(井上、榎茂都、山村、吉村)と、東京を代表する舞踊家の競演で、
上方と江戸の風俗や情景を描写する作品も織り交ぜ、東西の舞踊の魅力に迫ります。
斯界を代表する名手たちの至芸を堪能し、舞踊の奥深さに触れる秋の一日をどうぞお楽しみください。

第一部 午後1時開演

長唄 島の千歳

平安時代に流行した、男装して舞を舞う白拍子。その元祖の一人とされている、島の千歳を唄った上品な祝儀物で幕があきます。吾妻節穂は、初代吾妻徳穂に師事した吾妻流の幹部です。

清元 傀儡師

首から提げた木箱を舞台に、人形操りをおもしろく見せる旅芸人の傀儡師。やがて自身がいくつもの役柄を踊り分けていきます。関西藤間流(勘右衛門派)の重鎮、藤間良太郎が素踊りでつとめます。

常磐津 そばやの三つ面

歌舞伎の「助六」に登場するうどん屋を、大阪新町の廓のそば屋にうつしました。若柳流五世宗家家元の若柳吉蔵が、夫婦と隣家のあんまの三人を、面を使い分けて踊ります。軽妙な中にも、上方の味わいが漂います。

一中節 都見物左衛門

都見物左衛門を名乗る男が、方広寺の大仏をはじめ京の名所を歩き回る様子を生き活きと描きます。一中節のなかでも古い曲です。吉村流の六世家元、吉村輝章による都風情たっぷりの明るい一曲です。

常磐津 山姥

近松門左衛門の『山姥』に拠る「山姥物」の一つです。三世井上八千代の振付。後半にあたる山めぐりで、四季の美しい情景を描き、能がかりの雰囲気でも艶に終わります。京舞井上流五世家元井上八千代が、格調高く舞います。



撮影=篠山紀信

第二部 午後4時30分開演

地歌 閨の扇

遊女の恋のはかなさを扇にたとえ舞う、艶ものの代表曲の一つです。振付は二世榎茂都扇性。技巧的で優美な扇の振りが見どころです。榎茂都梅咲弥は流儀の重鎮、榎茂都梅咲の門下で、榎茂都流の中堅をにやいます。

長唄 吉原雀

吉原雀とは、江戸の遊廓、吉原のひやし客のことです。吉原の放生会を訪れた男女の鳥売りが、廓の風俗や遊女の生活を描写します。花柳芳綱と花柳双は、関西花柳流の実力派です。賑やかで粋な風情をお楽しみください。

義太夫 関寺小町

「花鏡四季寿」の秋の部「関寺小町」。老年の小野小町が若き日の百夜通いを追憶し、また元の庵に帰って行く…。老いの幽玄の美を描いた大変重い曲です。井上かづ子は、四世井上八千代の高弟で、気品と滋味あふれる舞い手です。

常磐津 景清

平家の武将景清が、清水寺参詣の際に五条坂の遊女阿古屋に馴染みます。軍語りと廓話を、緩急をもつて踊り分けます。藤間蘭黄は、祖母・藤子、母・蘭景と続く「代地」の芸を継承、「景清」はその十八番の一曲です。

地歌 葵上

能「葵上」に由来した本行物です。六条御息所の光源氏との想い出。やがてそれも悲しみに変わり、葵上の枕元に、生霊(鬼)となつて激しく迫ります。鮮やかな二枚扇の扱いも見どころです。山村流六世家元、山村友五郎が凄艶な女心を描く大曲をつとめます。

予約開始

9月11日(日) 午前10時~
(電話) 国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]
0570(07)9900
03(3230)3000 [一部IP電話等]
(インターネット) <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン)

窓口販売開始

9月12日(月) チケット売場 [午前10時~午後6時]
入場料金 (各部・税込)
6,700円・学生 4,700円
(第1部・第2部セット割引 11,400円)
※障害者の方は2割引です。※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。
プレイガイド チケットぴあ 0570(02)9999 [Fコード:449-582]
9月11日(日)より [パソコン・携帯] <http://pia.jp/>
ローソンチケット 0570(000)407 [Lコード:51573]

国立文楽劇場
日本橋駅 地下鉄千代田線 千代田駅
千代田線 千代田駅 徒歩10分
千542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
06(6212)2531(代表) <http://www.ntj.jac.go.jp/>
文化力 POWER OF CULTURE